

ペガちゃんフロ6「スターウォッチング」(天体観察出張指導) [小学4年・理科]

ねらい	当所の活動プログラム「天体観察」と小学校学習指導要領（平成 29 年 3 月改）第 3 学年及び第 4 学年の内容「B 生命・地球」（4）月と星に関連させたプログラムである。子どもたちが夏の星について興味や関心をもち、星の明るさや色には違いがあることを理解することをねらいとしている。
概要	当所職員が、学校に出向いて、天体観察の方法や季節の星座について講話し、天体望遠鏡等を実際に活用しながら、天体観察への興味関心を高めることができる。
よさ	○ 実際の夜空を眺めながら、「星座」を観察することで、既習した内容を確認することができる。 ○ 自宅周辺で星を観察する際の留意点を確認することができる。

- 校種 ・ 学年 小学校 第 4 学年
- 教 科 理科
- 領 域 B 生命・地球 （4）月と星
- 展 開 (例)

過程	主な学習活動 ※（ ）…指導者	時間(分)	指導の手立て
導入	1 夏の夜空の資料写真を見て、気づいたことや疑問に思ったことを話し合う。(引率者) 2 本時の学習問題を確認する。 (引率者)	5	○ 夏の夜空や星座の資料写真を提示することで、既習事項や生活経験を基に想起させ、学習への意欲を喚起させるようにする。
展開	夏の星のひみつについて調べよう。 3 夏の星についての話を聞く。 (自然の家職員) (話の内容) ・ 空には、明るさや色の違う星があること ・ 星の集まりは、1 日のうちでも時刻によって、並び方は変わらな いが、位置が変わること	15	○ 映像資料（ステラナビ等）を効果的に活用することで、星の特徴や星座について興味をもち理解できるようにする。 ※ 星空観望会の資料等も活用
終末	4 星座早見板などを使って星座を探す。(引率者・自然の家職員) ・ 木や建物など地上の物を目印にして、星の位置の変化を調べる。	10	○ 星の話と併せて星座早見板を使って星座を探させることで、実際に夜空の星座を探することができるようにする。 ○ 星の明るさや色には違いがあること、星座という星の並びがあることについて活動を振り返りながら、まとめさせる。
		5	○ 自宅周辺でも、星の観察ができることを知らせるとともに、安全な観察方法についても助言・指導する。

- 事前に準備するもの
(自然の家)： 小型望遠鏡、パソコン（天体の話用）、プレゼン資料、星に関する資料、ランタン
(学 校)： 長机、スクリーン、プロジェクター、延長ドラム
※ 20 日前までに講師派遣申請書（2 部）を提出する。